

大牟田市こども計画に係るニーズ調査の実施について

1. 今回の調査における基本的な考え方

大牟田市こども計画の策定にあたっては、大牟田市第7次総合計画を基本としつつ、国の「こども大綱」や福岡県こども計画の対象範囲を踏まえて施策を体系化し策定していくこととしている。

また、「こども大綱」や「福岡県こども計画」の内容は、子ども・若者育成支援推進法や子どもの貧困対策の推進に関する法律、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法など多岐にわたっていることから、調査対象者を分け、幅広い世代からニーズの把握を行うこととする。

なお、こども計画のうち、子ども・子育て支援事業計画に係る調査については、こども家庭庁より発出された「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等の考え方」等を踏まえつつ、市の現状及び課題の分析につながる設問の追加などを行う。

2. 調査概要

就学前児童の保護者、小学生とその保護者、中学生とその保護者、若者を対象としたアンケート調査を実施し、その対象者及び家族の生活実態を把握するとともに必要な取り組みへの参考とする。

(1) 就学前児童の保護者向けアンケート調査 【前回実施】

対象者数：1,000件（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：案内文（webページのURL、QRコード入り）を郵送し、webページにより回答

調査項目：70問程度

保護者の就労状況、教育・保育の利用状況又は将来的な利用希望、子育て支援事業等の利用の有無、病気になった際の対応、育休取得期間と希望、就学後の放課後の過ごし方、こども誰でも通園制度の利用希望など

(2) 小学生及びその保護者に係るアンケート調査 【新規実施】

対象者数：①小学5年生 約800人、②その保護者 約800人

調査方法：学校を通じて案内文（webページのURL、QRコード入り）を配布し、webページにより回答

調査項目：50問程度

① 小学生

食事・睡眠の状況、生活への満足度、インターネットの利用状況、悩みや相談先の有無、自分の居場所の有無、ヤングケアラーに関すること、子どもの権利に関することなど

② 保護者

就労状況、子どもの教育、暮らしぶり、保護者と子どもの健康状態、子どもの体験活動に関すること、子育てに関する情報の入手先など

(3) 中学生及びその保護者に係るアンケート調査 【新規実施】

対象者数：①中学2年生 約800人 ②その保護者 約800人

調査方法：学校を通じて案内文（webページのURL、QRコード入り）を配布し、webページにより回答

調査項目：50問程度

①中学生

食事・睡眠の状況、生活への満足度、インターネットの利用状況、悩みや相談先の有無、自分の居場所の有無、ヤングケアラーに関すること、子どもの権利に関することなど

②保護者

就労状況、子どもの教育、暮らしぶり、保護者と子どもの健康状態、子どもの体験活動に関すること、子育てに関する情報の入手先など

(4) 若者に係るアンケート調査 【新規実施】

対象者数：市内に在住する15～39歳の市民 約1,000人

調査方法：案内文（webページのURL、QRコード入り）を郵送し、webページにより回答

調査項目：30問程度

職業(学生含む)、外出頻度、自分の居場所の有無、学校(仕事)以外の活動、インターネットの利用状況、職業についての考え方、結婚について、子どもを持つことについて、ヤングケアラーに関することなど

※上記調査項目のほか、共通として子ども・子育て応援条例の認知度やまちづくりへの意見なども尋ねる。